

2024年9月2日

神戸市水道局西部水道管理事務所
所長 様

神戸市水道労働組合西部支部
支部長

2025年度 支部産別要求書

みだしの件につきまして、2025年度西部支部としての要求を下記のとおりまとめましたので、ご検討のうえ、安全・衛生・業務の活性化に向けて職員の声にお答え戴きますようお願いいたします。

記

○（被服・厚生物資関係）

被服にポロシャツを追加 （半袖・長袖）〈継続要求〉	現場作業により作業服が汚れた状態でお客様と対面する必要が生じる際には、不快にさせないように作業着を脱いで対応しているため、ポロシャツの貸与を要求する。
空調服はファン付きベストとの選択制〈継続要求〉	現在、長袖のみが貸与されているが、腕まわりなどが風で膨らみ、作業内容によっては支障となる場合があるため、ベストタイプの貸与を要求する。
冬用ヒートベストの貸与 〈継続要求〉	冬場及び夜間作業時の防寒のため、ヒートベストの貸与をしてほしい。バッテリーは空調服用のバッテリーを共通で使用することが可能である。

○（執務環境関係）

2階北側扉にインターフォン設置 〈継続要求〉	請負工事などの業者が勤務時間外に来訪することがあるため、時間外来訪者用インターフォンの設置を要求する。
---------------------------	---

○（車両関係）

古い車両を新しいリース車への変更及びカーナビの設置	古い車を新しいリース車への変更及びカーナビの設置を要求する。
車両の作業車（ワンボックスタイプ）への変更〈継続要求〉	作業車の代わりに軽乗用車などを使用しているが、作業車の方が人員・資器材を積載でき、作業効率が良いので作業車への変更を要求する。
車の再配置及び増車	請負工事の増加に併せた車の再配備をして欲しい。車の貸し借りはしているが、不便であるため、増車を要求する。

ETC カードの追加	ETC カードが同時に使用される場面が多々あるため、カード枚数の増を要求する。
------------	---

○ (その他)

IJCAD の USB キーの増加 (継続要求)	工事監督業務を初め、様々な業務で CAD が必須となっているため、追加を要求する。また、AutoCAD がインストールされている PC が、更新時に IJCAD への置き換えが継続されるよう要求する。
P-des のライセンスキーの増加 (継続要求)	水栓作業の増加による作業計画の作成などで、利用する機会が増えてきているので追加を要求する。管網再構築やバックアップ、その他大掛かりな解析など作業完了までに時間を要する作業を実施している状況下で、他の解析を行いたいときに、解析が出来ないことがある。
無線機の更新	単なる修理だけで、つながりにくいという点が解消されず、少し広い範囲になるとつながらないため、業務上非常に効率が悪い。もう少し広い範囲で使用出来る機器への変更も視野に更新を要求する。
スマホの完備	無線の入りが悪いため、それに代わるものとして、Teams のトランシーバー機能などの活用出来るようにタブレットよりスマートフォンを完備するよう要求する。タブレットより携帯性に優れ、実際に電話も出来るため、使用の幅はタブレットよりも大きく使い勝手が良い。
コールセンター業務の見直し (継続要求)	コールセンターから下水やその他の水道に関係ない案件の電話が多く回ってくるので、マニュアルを再整備の上、苦情処理も含めて、コールセンター対応の見直しを行い、電話対応前に要件別に番号で割り振りする仕組みの導入など管理事務所の受付及び対応を減らすよう要求する。
各パートの業務量についてバランスの取れた人員配置の見直し (継続要求)	各パートで仕事を分けているが、繁忙状況の差がみられるため、人員配置を含めた業務バランスの見直しを要求する。また、業務内容により、ある程度パートを分けるの必要はあると認識しているが、相互連携ができる雰囲気づくりをしてほしい。
水道技術転任試験の継続 (継続要求)	局内で一定期間行われてきたが、この度で終わりではなく、継続して欲しい。今までも、局内転任や人材活用なども継続してきた経緯があるので、同様に続けて欲しい。
宿直体制の見直し	特に土日祝日などの連休は別途待機職員を置く、もしくは宿直従事者数を増やすなど対応をして欲しい。
e-water の整備	業者とのやり取りなどで、図面の凡例を出せるモードがあるが、その様式や大きさなど全て規定のものとなっており A3 でしか対応出来ない。他のサイズ等でも対応できるように設定の変更を要求する。

夏季休暇の増加	現在5日の有給が付与されているが、年々高まる熱中症や、労働改革に合わせ、休暇を増加するよう要求する。
タンク車運転にかかる運転免許取得助成・支援	現在、若手職員（特に20代の職員）において、普通免許取得者ではタンク車の運転が出来ないので、運転免許取得において、全面的な助成制度を要望したい。
ドローンの活用	水管橋などの効率的な調査が期待できるドローンを操縦するための免許取得の助成を要望する。